

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 9 日

定期予防接種の実施				
担当部署・課長名	健康	課	予防	係 課長名 志村 明子

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。		施策番号	2 - 1	-
【施策名】 保健・医療の充実		総合計画書 (ページ)	47	

予算名	款 4 衛生費	項 1 保健衛生費	目 2 予防費	事業 1 予防事業費
-----	---------	-----------	---------	------------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 予防接種法施行令及び予防接種実施要領で定められた対象年齢である市民	→	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 予診票送付件数 ① A類予防接種(努力義務)予診票送付件数 ② B類予防接種(希望による)予診票送付件数
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 対象者が予防接種対象疾病にかかることを予防し、他者への感染を防止する。	→	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) ① A類実施件数/A類予診票送付件数 ② B類実施件数/B類予診票送付件数
	③ そのために何をしましたか。 対象者に個別通知をし、医師会との委託契約により個別予防接種を実施した。	→	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 予防接種を実施した件数 ① A類予防接種(努力義務)実施件数 ② B類予防接種(希望による)実施件数

		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
2 指標の推移	対象指標	①の数値	件	① 17,982 ② 27,187	① 17,780 ② 27,963	① 17,042 ② 28,084	
	成果指標	②の数値	%	① 95.37 ② 49.03	① 98.76 ② 45.75	① 101.24 ② 45.70	
	目 標	②の目標値	%			100	100
	目標設定の考え方		①は、努力義務の予防接種のため、接種により病気から子どもを守るため100%を目指す。				
活動指標	③の数値	件	① 17,149 ② 13,331	① 17,149 ② 13,331	① 17,254 ② 12,835		

3 経費	事業費(実績)		円	214,991,615	217,493,421	218,691,002	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	204,724,615	207,436,421	208,796,002	
		特定財源	円	10,267,000	10,057,000	9,895,000	
		(うち受益者負担)	円	0	0	0	
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	1.5	1.5	1.5	
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0	
職員人件費(再任用以外)		円	12,400,500	12,379,500	12,366,000		
職員人件費(再任用)		円	0	0	0		
事業費+人件費		円	227,392,115	229,872,921	231,057,002		

この仕事における市の裁量	市の裁量はない
--------------	---------

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 予防接種法(昭和23年6月30日法律第68号、最終改正平成25年12月13日)第3条に基づき開始。伝染のおそれがある疾病の発生及びまん延を予防するために公衆衛生の見地から予防接種の実施その他必要な措置を講ずることにより、国民の健康の保持に寄与することを目的に実施。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 近年、定期化する予防接種の種類が増加している。

仕 事 の 内 容	定期予防接種の実施			
担当部署・課長名	健康	課	予防	係 課長名 志村 明子

5 市民等の意見
この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について
東大和市医師会から、定期予防接種の委託料の単価設定について、これまで単独接種と同時接種が別にそれぞれに設定されていた単価を統一する協議依頼があった。

6 市民協働
(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）

取り組んだ	取組手法	⑥情報提供・情報交換（市報、HP、東大和スタイルアプリ）
		【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）

(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点
定期予防接種の多くは、被接種者の感染防止にとどまらず、市民への感染のまん延防止にもつながることから、接種率の向上を図るため効果的な情報提供の媒体の導入について検討する。

7 課題
(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題（2）」の内容
定期予防接種の種類増加により制度が複雑化し、事務量が増えている。
(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。
・予防接種の委託料単価について、同時接種と単独接種に分かれているものを一本化し、事務の効率化を図った。
・平成30年度は、これまで紙ベースだったワクチン注文表をExcel表で作成したことにより、月ごとの集計及び請求金額の確認が自動計算できるようになり、事務の効率化が図られた。
(3)(2)を踏まえた今後の課題
・予防接種の委託料単価について、更なる縮減に向け医師会との協議を重ねる。
・予防接種の委託料請求書については、複写式の用紙を外注で印刷しているが、書き損じ等による差し替えが頻発し事務が煩雑である。

8 今後の方向性
(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）
・予防接種の委託料請求書については、複写式の用紙を外注で印刷しているが、Excel表で作成し希望する医療機関にメール送信することにより、委託料の計算ミスが防止できる。また、請求書の手書きによる作成が不要となり、医療機関・医師会・市の支払い業務に係る事務の負担が軽減され効率性が增加する。
(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等
・医師会等関係機関と協議し検討を開始する。
(3)改革・改善案による期待成果
上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。

成果	成果を維持する。	経費	仕事の経費は維持する。
----	----------	----	-------------

9 上半期終了時点の状況（平成31年9月末記入）

10 平成32年度に向けた方向性（平成31年9月末記入）